

大麦情報(2号)

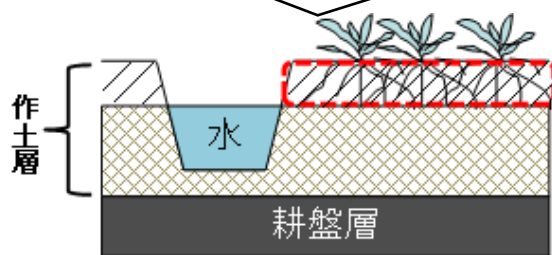
令和6年10月22日
砺波農林振興センター
JAなんと営農部

播種作業は9月下旬から行われ、苗立ちは良好です。
今後は、分けつの発生と根の伸長を促進するため、**排水対策**を徹底しましょう。

1 排水対策

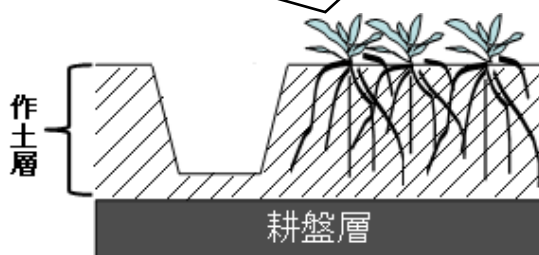
ほ場に水が溜まっていると湿害で根の伸長が悪くなり、穂になる茎数が不足して、収量の低下や雑草の繁茂につながります。

停滞水により根が伸長しない



排水不良田

停滞水がないと根が伸長し、分けつの発生が良好になる



排水良好田

降雨後にはほ場を点検し、**停滞水がある場合は溝の連結等の手直し**を行い、積雪前に排水性を高めましょう。

◎排水対策のポイント

①排水口まで溝がきちんと連結されているか確認し、崩れていたら手直しを行いましょう。

②降雨後に溝に水が停滞している場合は、**溝を深く掘り下げて排水口につなげたり、新たな溝を設置**するなど、停滞水が速やかに排水されるようにしましょう。



溝が排水口に連結されているかを確認

排水口の掘り下げが十分かを確認

溝が崩れていないかを確認

2 追肥(分施の場合)

基肥に「基肥555」を使用している場合は、越冬前の生育量を確保するため、追肥を施用しましょう。

施用時期	肥料名	施用量
播種後1か月頃 (本葉3～4葉期)	硫安	20kg/10a

JAなんとメールマガジンの登録は**こちらから**
営農情報をスピーディーにキャッチ!



※**エコ大麦44号などの一発肥料**を使用している場合は、**追肥は必要ありません。**

お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261) または 砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ